

核兵器廃絶・放射能被害根絶・原子力空母いらない！

神奈川県原水協通信

発行：原水爆禁止神奈川県協議会
横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577
Mail- kana-gensuikyo@gol.com
発行日：2016.2.9 No. 104

核の傘NO! 戦争しない日本を ビキニデーを成功させよう!

ビキニデーまで3週間となりました。ビキニ被災62年目のビキニデーです。原水禁運動の原点ともなったビキニ事件。そして、今年のビキニデーをスタートに、新たなステージに入った核兵器廃絶運動の重要なスタートと今年のビキニデーです。神奈川にとっては、特別に重要な取り組みです。「参加の予定です」という声は聞こえますが、申込書が届いていません。若い人、平和に関心のある人、まだ一度も参加していない人など対象を広げて取り組みを強めるようお願いいたします。

申し込みは、まだ40名! 参加の申し込みを急いで下さい。

ビキニデー参加者の集い

- *2月23日(火) 午後6時30分～
- *建設プラザ2F 会議室
- 学習講演：講師は **土田弥生さん**です!
(日本原水協事務局次長・国際部長)
- テーマ『核兵器をめぐる情勢とビキニデー』
ビキニデーの大切な学習場となります。

ぜひ、ご参加を!

あと3週間となったビキニデーですが、申し込みのテンポが遅れています。このまま推移すると150人にも届かない状況です。各団体や地域原水協で早急に代表を確定し、申し込み書を提出するようお願いいたします。現在、手元にある申込書は、早急に県事務所へ届けるようお願いいたします。宿泊先を独自に確保している人も、どのような参加の仕方が、事務局で把握することが必要です。これからの頑張りが必要となります。

皆さん、がんばりましょう。

ビキニ事件(三浦三崎)の被災漁船に関する資料探索

アメリカがおこなったマーシャル諸島の水爆実験で日本のマグロ漁船乗組員が被災したビキニ事件から62年になります。三浦三崎のマグロ漁船乗組員も大きな被害を受けました。しかし、その真相は闇の中に葬られ明らかになっていません。現在、その実相を探索し労災申請する活動が全国で起こっています。全国で最大の被害を受けた神奈川県でも資料発掘の活動を始めました。



資料探索について相談する木佐木県会議員、片野理事長、笠木事務局長

2月3日、県庁を訪れ日本共産党の木佐木忠昌県会議員の力を借りて、県当局に当時の被害資料の公開を要請しました。

今後、チームを結成し三浦市の人とも連携して進める予定です。

日本原水協全国理事会開催!



発言する笠木事務局長

2月6日～7日に、2016年度の全国理事会(総会)が行われ神奈川県から6人が参加。全国理事会では新たな署名運動、被爆者連帯、各地の活動など活発討論し方針を決定しました。

原潜テキサス、横須賀基地に2/5入港



2/5横須賀基地に入港したテキサス

今年4回目となる原潜テキサスが横須賀入港。県原水協と阻止連が2月8日、抗議文を横須賀基地当直司令官に手交し抗議しました。